

令和 7 年 3 月 28 日

学校評価(自己評価)公表シート

社会福祉法人アタラシイカタチ
幼保連携型認定こども園 やまとこども園

1. 本園の教育・保育目標

教育・保育目標

【生き生きした子どもをめざして】

- ・ 丈夫で体力のある子ども
- ・ 元気よく友達と遊べる子ども
- ・ 自分のことは自分でできる子ども
- ・ 自分の主張をはっきり言うことができ、みんなで力を合わせることを大切にする子ども
- ・ 自然に目を向けられる子ども
- ・ 感動し、驚き、疑問を持ち、考え、表現できる子ども

教育・保育方針

- ・ いきいきした子どもを目指して、集団生活の中で一人ひとりの能力を最大限に発揮させ、豊かな人間性を持つ子どもを育成する。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目を設定し、それらに沿って自己評価を実施し、職員が主体性を持って客観的に自園の教育内容・保育内容をチェックし、重点項目について点検と改善に取り組む。

3. 評価項目の達成と取組み状況

評価項目	取組み状況
子どもの興味・関心を実現するために保育者が心がける	子どもたちとの関わりやコミュニケーションを大切にし、話し合いの場を作ってきた。子どもの気持ちや反応を見極めて「やってみたい」を一緒に楽しむことができた。
様々な場面で進んで挨拶ができる習慣を育てる	保育者が見本となるよう進んで行い、恥ずかしさや自信がない時には、一緒に行くことで進んで出来るようになった。挨拶の習慣は身につけ達成できた。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どもに寄り添い、良さを認め、保育教諭が客観的に見る目を養うように努めている。

遊びを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自ら選んで遊ぶことができ、それを発展させて友達と協力して遊んだり、工夫したりできる環境づくりを目指しているが、子ども主体の保育という面では、来年度に課題を残すことに
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	一日の生活の流れの中で、基本的な生活習慣が身に付くように促している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

保育者が考えた環境に子どもがどのように興味や関心を持ったかを捉え、自発的・意欲的に活動できるよう取り組んだ。子どもの「やってみたい」の気持ちを大切に今後も興味関心を引き出せるような環境構成を考えていきたい。 来年度に向けて、保育の見直しを行い子ども主体の保育を更に進める為に、具体的な保育の手法や環境設定を学ぶ取り組みを行う。 国際バカロレア PYP 候補校として、今後2年を目標に認定を取れるように進めていきたい。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
安全教育と安全管理	地震などの自然災害への対応と計画・準備、また不審者等への対応など、危機管理マニュアルの徹底と日頃の訓練を通して職員の意識の向上を図る。 また、看護師による怪我等の対応や AED 研修を計画する
自己点検・自己評価	人権擁護のためのセルフチェックリストを使って一人一人を大切にする保育の自己点検をし保育の見直しを心がけた。 今後も各職員においてさらに課題を設定し、自己研鑽に取り組むようにする。
幼児期に必要な経験を大切にする	正しい生活習慣を身につけるために、一つひとつ丁寧に指導を行い、繰り返し経験を積んでいく。 また、主体的に物事を捉え、考え、探求することで「考える力」が身に付くように取り組む。